

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実		課(室)名	都市計画課
	施策	中心市街地の活性化		電話番号	087-839-2455
	基本事業	豊かな居住環境の充実		事業実施主体	その他
	事務事業	高松丸亀町商店街再開発事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	中央商店街の活性化と土地の合理的かつ適切な高度利用による都市機能の集積を図るため、中心市街地活性化基本計画に基づき高松丸亀町商店街において、商業・サービス業の魅力強化と効果の波及や来街者の回遊性向上、まちなか居住の促進に資する市街地再開発事業等を推進する。				
30年度概要	大工町・磨屋町市街地再開発事業に関する指導・支援（H29繰越） 大工町・磨屋町市街地再開発事業に関する指導・支援事務費				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象（何を）	高松丸亀町商店街
意図（どのような状態にしたいか）	丸亀町商店街において、再開発事業を推進することで、商店街のにぎわい創出を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
補助金の交付件数	件		1	0	1	1

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
丸亀町商店街の通行量	人	目標値		36,028	36,500	36,500	36,500
		実績値		39,532	31,612		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市街地再開発事業の実施により、商店街のにぎわい創出につながり、丸亀町商店街の通行量は増加しているが、29年度は大雨による悪天候の影響もあり、通行量は減少した。	(目標達成度)						(達成度) 86.6% 30点
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（決算）	平成 30年度（予算）
トータルコスト	[円]	12,295	28,184	10,854	93,442
（事業費）	[円]	6,844	16,957	80	82,668
（職員人件費）	[円]	5,451	11,227	10,774	10,774

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

市街地再開発事業に必要な都市計画決定の手続きを開始したが、事業実施に必要な資金の調達が進められるよう事業内容を精査し、事業主体を指導・助言する必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

組合設立や権利変換計画認可に伴う地権者との合意形成を整えつつ、再開発事業計画の事業安定性等を確認しつつ、財政支援を行っていく。